

家庭養育推進及び児童虐待予防にかかる自治体職員向け海外視察研修
(通称：あかし・日本財団海外研修)
募集要項

1 趣旨・目的

2022年(令和4年)の改正児童福祉法の内容の多くが、本年から来年にかけて施行されます。これに伴い、日本の児童福祉施策は大きな変革の時を迎え、児童相談所など児童福祉の最前線は発想の転換を迫られています。

「指導から支援へのパラダイムシフト」「当事者参画とアドボカシー」「パーマネンシー保障」「予防的支援や家庭維持」「本格的な里親支援体制の構築」「社会的養護の現代化」「司法関与の強化」など、欧米等の諸外国において10～20年前に始まっていた施策をわが国で円滑に実施するためには、既に長年にわたって実践してきた海外の施策形成者や実践者との交流を通じて、その発想の核となるものに触れ、実践上の課題やその後の変遷を肌身で感じる事が重要です。

そこでこの度、西日本こども研修センターあかしでは、こども家庭庁の「虐待・思春期問題情報研修センター事業」の一翼を担う機関として、児童相談所設置自治体主管課職員と児童相談所職員を対象に、海外視察研修を企画しました。

この研修を通じて、参加者の皆さんが、

- ・ 世界各国の児童福祉の仕組みや実践に触れ、そこからの学びを自身の自治体における児童福祉施策の立案や実践の向上に結び付けること
- ・ 訪問する国の人々との対話を通じて、視野や見識を広めること
- ・ 参加者同士の連帯感を醸成するとともに、視察後もネットワークを維持し、自治体相互の枠を超えて実践人材の育成に寄与すること

を目的としています。

2 主催

公益財団法人 こども財団 (西日本こども研修センターあかし 運営法人)

3 助成

日本財団

4 訪問先：アメリカ合衆国コロラド州【詳細は調整中】

- (1) ケンプセンター (The Kempe Center : National Center for the Prevention and Treatment of Child Abuse and Neglect) (※)
- (2) コロラド州内の複数の自治体 (群) や教育機関

※ ケンプセンターについて

こどもマルトリートメントに関する領域における主導的な存在として、国際的にもよく知られている研究所。コロラド大学医学部小児学科内に設置されており、「こどもへのマルトリートメントに対する深い理解とその予防」「こどもと家族の生活をより良いものにすること」をミッションとして掲げている。

「創造性、研究、そして発見」を基盤として、以下の6つの領域においてミッションを達成しようとしている。

① エビデンスに基づく、こども虐待ネグレクトへの再現可能な予防及び治療のプログラム開発

例：トラウマ関連の臨床及び現場における介入法、年長児の加害防止プログラム、フォスター・ユースに対するメンタープログラム など

② こども家庭福祉の大きな枠組みに対する変革

例：DR (Differential Response) や FGDM (Family Group Decision Making for children at risk of abuse and neglect) の研究及び普及

③ 公的なこども家庭福祉システムにおける、施策及び現場の実践者たちの実務の改善

例：公的機関に対するSVやコーチング、現場における多職種でのケースレベルに対する意思決定システムの理解と改善

④ こどもマルトリートメントに対する研究、こども家庭福祉施策がもたらす結果やコストの評価、そしてその結果の施策へのフィードバック

⑤ 付属の外来クリニック、入院病棟、緊急サービスにおける多・異専門職による臨床サービスの提供

⑥ 州および全米レベルでの政策や法改正に対する、こどもと家族のためのより良い支援を求めるアドボカシー活動

5 説明者及び説明内容（予定）

<説明者>

- (1) 自治体担当者
- (2) （日本の児童相談所に相当する）児童保護機関
（インテークディレクター、児童保護ワーカー、振り分けチーム）
- (3) （日本の家庭裁判所にあたる）司法関係者
- (4) 児童福祉の人材育成に係る教育機関
- (5) 里親支援機関の関係者や里親
- (6) 児童虐待に対して予防的支援に関わる民間団体

<説明内容>

- (1) 米国の児童福祉における予防、研究、トレーニング、改革の全体像
- (2) コロラド州における改革（社会的養護における施設ケア・里親ケア・親族里親）
- (3) 児童保護サービス
- (4) Family Meeting
- (5) 親族里親ケア
- (6) 訪問コーチング（里親・実親）
- (7) Collaborative Foster Care Program
- (8) Family (Parent) Advocacy

6 研修内容

- (1) 事前研修 ： オンライン・数日程度
- (2) 渡航研修 ： 各機関の視察
- (3) 事後研修 ： オンライン・数日程度
- (4) 報告書作成 ： 参加者全員が分担して執筆
- (5) 報告会 ： 東京都内で半日程度

7 スケジュール 【変更の可能性あり】

- 2024（令和6）年7月16日（火）：募集開始（児童相談所設置自治体へ周知）
8月30日（金）：募集締め切り
10月1日（火）：選考結果の通知
10月下旬：事前研修①
11月下旬：事前研修②
- 2025（令和7）年1月中旬：事前研修③
2月8日（土）：渡航研修
～15日（土）

8日（土）	集合（成田国際空港）・出発→デンバー到着
9日（日）	（調整日）
10日（月） ～13日（木）	施設視察等
14日（金）	デンバー出発→
15日（土）	到着（成田国際空港）・解散

- 2月中旬～3月中旬：報告書作成
3月上旬：事後研修①
3月下旬：報告会

8 視察研修団

団 長：藤林 武史（西日本こども研修センターあかし センター長）
副団長：畠山 由佳子（神戸女子短期大学 幼児教育学科 教授）
団 員：児童相談所を設置運営する自治体職員、児童相談所職員
事務局：西日本こども研修センターあかし 職員

※ 全体で10名程度を予定

9 募集人数

6名（3自治体）

10 応募資格

- (1) 同一自治体から、「施策立案を所管する部署の職員（本庁職員）」と「児童相談所の職員（児相職員）」との2名一組での申し込みであること
- (2) 応募時点で、本庁職員又は児相職員として児童福祉に関わる業務の経験年数が概ね5年以上あること
- (3) 当視察研修の終了後においても、当面の間、児童福祉に関わる業務に従事することが想定されること
- (4) 【5 研修内容】に記載する全ての項目に参加出来ること
- (5) 心身ともに健康で、団体行動の中で適切に振る舞える方

11 応募書類

- (1) エントリーシート：自治体で1通（指定書式）
- (2) 課題レポート：自治体で1通（指定書式）

<課題>

- ① 所属している自治体において、こども家庭福祉（予防的支援、児童虐待対応、家庭養育推進など）に関して特に課題だと考えていること
- ② 今回の研修で学びたいこと
- ③ 今回の研修での成果を踏まえ、今後変えていきたいこと

12 応募方法・締切

- (1) 電子メールによる info@akashi-nkkc.jp への応募のみ
- (2) 2024（令和6）年8月30日（金） 必着

13 団員の選考

- (1) 児童相談所を設置運営する自治体（都道府県・政令指定都市・中核市）から推薦
- (2) 「海外視察研修参加者選考委員会」にて書類選考し、参加者を決定

<選考基準>

提出されたレポートを、「意欲」「課題意識」「今後の取組の具体性（将来性）」の視点から評価

※ 児童相談所の規模や地域性を考慮する場合あり

14 費用負担

<主催者が負担するもの>

- (1) 事前研修・事後研修・報告会等の実施に要する費用（国内旅費交通費を除く）
- (2) 渡航研修に要する費用（渡航費、研修費、現地交通費、朝・昼食費、宿泊費、海外旅行保険代等）
- (3) 渡航研修中における夕食費（2/9 及び 2/13）
- (4) その他、研修実施に際して主催者が必要と認めた費用

<所属自治体又は参加者本人が負担するもの>

- (1) 事前研修・渡航研修・事後研修・報告会に参加するための事務用品費、通信費、国内旅費交通費
- (2) 事前研修・渡航研修・事後研修・報告会に付随する個人的な費用
- (3) 渡航研修の調整日（2/9）における費用（宿泊費を除く）
例）ご自身のアクティビティに関する交通費、食費等
- (4) 渡航研修中における夕食費（2/9 及び 2/13 を除く）
- (5) アメリカへの渡航に要する費用（パスポート取得・更新費、ESTA（電子渡航認証システム）申請手数料）

15 その他

- (1) 自然災害、感染症、戦争、テロの発生等により、参加者の健康や安全に危険があると、主催者が判断した場合は、研修の実施内容を変更又は中止することがあります。
- (2) 応募に際して提供された個人情報、研修参加者の選考、研修実施、報告書作成及び報告会開催のほか、当視察研修事業の実施に必要な範囲においてのみ使用します。
- (3) 応募書類は、主催者の責任において処分するものとし、応募者へ返却致しません。
- (4) 記録及び広報のため、西日本こども研修センターあかし及び日本財団により録音・録画・写真撮影を行います。

【お問い合わせ先】

公益財団法人 こども財団

西日本こども研修センターあかし（担当：佐藤・三木）

電話：078-920-9675

e-mail : info@akashi-nkkc.jp